

# FlexNet Manager Suite 2017 R1 リリースノート

2017 年 4 月、バージョン 1.11

はじめに.....	2
新しい機能.....	3
インベントリのレポートを行っていない Oracle データベースのインスタンスを自動削除する新しい設定.....	3
以前のリリースからの変更点.....	3
セキュリティ脆弱性の修復.....	3
パフォーマンスの向上.....	3
Microsoft SQL Server CLR (共通言語ランタイム) 統合.....	3
Oracle および IBM MQ の FlexNet インベントリ強化.....	4
Solaris 上の Oracle Processor および IBM PVU ライセンス.....	4
ServiceNow Istanbul リリースのサポート.....	5
IBM License Metric Tool (ILMT) 9.2.3 のサポート.....	5
BMC Discovery バージョン 11.1 のサポート.....	5
LMS 監査エビデンスのダウンロード制限.....	5
強化されたサポート機能.....	5
SAP 管理モジュールの日本語版リリース.....	5
使用許諾契約.....	6
ライセンスの互換性.....	6
インストールおよびアップグレードの手順.....	6
修正されたバグ.....	6
システム要件.....	10
ネットワーク要件.....	11
ハードウェア要件.....	11
前提条件ソフトウェア.....	12
その他の製品との互換性.....	17
既知の問題.....	20
ドキュメント.....	20
その他の情報.....	20

**メモ:** 最新のリリースノートは、[Customer Community \(英語サイト\)](#) から入手可能です (ログインが必要)。

# はじめに

FlexNet Manager Suite は、16,000 社を超えるソフトウェアメーカー、および 205,000 以上のアプリケーションに対するソフトウェア資産、ハードウェア資産、およびエンタープライズ契約の管理を行います。インストール済みのソフトウェア、アプリケーションの使用率、購入に関する情報をレポートし、またこれらを照合してライセンス ポジションを提供します。仮想環境および Oracle データベースのインベントリを行い、Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM)、および構成可能なアダプターを使って、その他のインベントリ ツールからインベントリをインポートし、エンタープライズ リソース プラニング (ERP)、人事 (HR)、Active Directory (Ad)、および発注 (PO) システムとシームレスに統合します。1,000,000 以上の製品 SKU 番号 (Stock Keeping Unit) を含むビルトイン ライブラリを使って、購入とインベントリを自動照合し、最新のライセンス モデルもサポートする Flex Net Manager Suite を活用することで、エンタープライズ内のソフトウェア資産運用を把握すると共に、ソフトウェア支出の最適化を図ることができます。

これらのリリースノートには、FlexNet Manager Suite について次の情報が掲載されています:

- FlexNet Manager Suite
- FlexNet Manager for IBM
- FlexNet Manager for Microsoft
- FlexNet Manager for Oracle
- FlexNet Manager for SAP Applications
- FlexNet Manager for Symantec
- FlexNet Manager for VMware

スイートに含まれる次の製品については、個別のリリースノートを参照してください:

- FlexNet Manager for Engineering Applications
- FlexNet Manager for Cloud Infrastructure
- Workflow Manager

## 新しい機能

### インベントリのレポートを行っていない Oracle データベースのインスタンスを自動削除する新しい設定

[システムの設定] ページの [インベントリ] タブにある新しい [Oracle データベース インスタンス] セクションを使って、インベントリのレポートを行っていない Oracle データベースのインスタンスを自動的に削除できます。[経過日数] ドロップダウン リストから、インスタンスを削除する前に待機する日数を選択します。デフォルトは [削除しない] で、該当するインスタンスの履歴が保持され、クリーンアップは実行されないことを意味します。

詳細については、「System Settings (システムの設定)」を参照してください: オンライン ヘルプの「*Inventory Tab* ([インベントリ] タブ)」トピック、および *FlexNet Manager Suite System Reference* ガイド (英語のみ) の「*Server Scheduling* (サーバーのスケジュール)」章

## 以前のリリースからの変更点

### セキュリティ脆弱性の修復

FlexNet インベントリ エージェント、FlexNet Beacon および FlexNet Inventory Scanner のアップデートに伴い、FlexNet Manager Suite 2017 R1 の脆弱性が修復されました。

この脆弱性の共通脆弱性識別子 CVE (Common Vulnerabilities and Exposures) は、CVE-2017-6885 です。この脆弱性がもたらす可能性のある影響については、共通脆弱性タイプ一覧 CWE (Common Weakness Enumeration) [CWE-426](#) の「共通の結果 (Common Consequences)」セクションを参照して下さい。この脆弱性の共通脆弱性評価システム CVSS (Common Vulnerability Scoring System) 基本値は 7.8 で、現状値は 7.0 です。

これらの改善点を利用可能とするため、すべての FlexNet インベントリ エージェント、FlexNet Beacons およびアプリケーション サーバー (マルチサーバー環境、インベントリ サーバー) をアップデートすることが強く推奨されます。

メモ: FlexNet Manager Suite Cloud のお客様は、FlexNet インベントリ エージェントのインストールをアップグレードする際、[Flexera サポート](#) によるアシスタンスを受けることができます。

### パフォーマンスの向上

本リリースでは、広範囲に及ぶパフォーマンス関連の変更が実装されています。特に、良く使われるオブジェクト (ライセンス、契約、インベントリ、ユーザー、資産、および購入) を一覧表示および編集する際のパフォーマンスが強化されています。

### Microsoft SQL Server CLR (共通言語ランタイム) 統合

FlexNet Manager Suite 2017 R1 のインストールまたはアップグレードには、SQL Server 上で Microsoft CLR (共通言語ランタイム) 統合を有効にする必要があります。システム パフォーマンスを向上するためには、この

変更が必須です。2017 R1 にアップグレードまたは移行予定のユーザーは、データベースを更新する前にこの設定をインスタンス レベルで有効化する必要があります。

詳細については、オンプレミス ユーザーの場合、該当するインストール ガイドを参照してください: *Installing FNMS 2017 R1 on-premises* (FNMS 2017 R1 のオンプレミス インストール)(英語のみ)、*Upgrading FNMS to 2017 R1 on-premises* (FNMS 2017 R1 へのオンプレミス アップグレード)(英語のみ)、または *Migrating to FNMS 2017 R1 on-premises* (FNMS 2017 R1 へのオンプレミス移行)(英語のみ)

## Oracle および IBM MQ の FlexNet インベントリ強化

Oracle データベースおよび IBM MQ (以前の WebSphere MQ) の特殊インベントリの収集が強化されました。

- UNIX 系のプラットフォームでは、これらの処理には FlexNet インベントリ エージェントがルートで実行されている必要があります。これによって、やや柔軟なセキュリティ環境にアクセスするときに、適切な信頼されているアカウントのインパーソネーションが可能になります。エージェントがルート以外のアカウントで実行するとき、これらの特殊な形態のインベントリ収集は阻止されます。
- Microsoft Windows では、アカウントのインパーソネーションができません、また FlexNet インベントリ エージェントは、ローカル SYSTEM アカウントまたはローカル管理者権限を持つ別のアカウントで実行します。

この強化内容を反映して、ドキュメントが改訂されています。 *Gathering FlexNet Inventory* PDF (英語のみ) には、すべてのプラットフォーム上で呼び出されるすべての子プロセスの一覧が含まれています。また、 *System Reference* PDF (英語のみ) では、「Oracle Discovery and Inventory (Oracle ディスカバリとインベントリ)」章が再構成され、これらの内容およびその他の詳細が更新されました。

## Solaris 上の Oracle Processor および IBM PVU ライセンス

FlexNet Manager Suite は Oracle Processor および IBM PVU ライセンスの Solaris ゾーンにおける最新ライセンス消費規則をサポートします。そのためには、Solaris ゾーンからのハードウェア固有の追加情報を収集、および Oracle Processor および IBM PVU ライセンスの特定の消費計算規則を更新します。この追加インベントリは resource-pool、capped-CPU、または dedicated-CPU リソース管理方法を使って構成された Solaris ゾーンから収集できます。

Solaris ゾーンの階層 (LDoms、psets、pools、hosts、および仮想マシン) は、**[仮想デバイスとクラスター]** ページに表示され、追加の仮想マシン (ゾーン) のプロパティは、**[インベントリ デバイスのプロパティ]** ページに表示されます。

**重要な情報:** カスタマが 2017 R1 リリースにアップデートした場合、新しいライセンス消費規則を活用するためには FlexNet inventory agent もアップグレードする必要があります。インベントリ エージェントがアップグレードされなかった場合、Solaris バージョン 10 & 11 上の Oracle Processor または IBM PVU ライセンスに関連するソフトウェア製品のインスタンスがライセンスに添付されなくなる、または消費がゼロとレポートされます。インベントリ データが不足している場合、いずれのライセンス消費も正確に算出されません。

2017 R1 FlexNet インベントリ エージェントをインストールせずにライセンスの消費を調整するには、インベントリ デバイスをライセンスに割り振って、消費のオーバーライド値を手動で設定します。

## ServiceNow Istanbul リリースのサポート

FlexNet Manager Suite – ServiceNow 統合パッケージが、ServiceNow Istanbul リリースで検証済みです。すべてのサポート対象リリース一覧は、後述の「その他の製品との互換性」セクションを参照してください。

詳細については、FlexNet Manager Suite Adapters Reference ガイド (英語のみ) の「*ServiceNow Integration with FlexNet Manager Suite (ServiceNow と FlexNet Manager Suite との統合)*」章を参照してください。

## IBM License Metric Tool (ILMT) 9.2.3 のサポート

FlexNet Manager Suite は今回より、ILMT が Microsoft SQL Server データベースを使用するように構成されている場合、ILMT バージョン 9.2.3 をサポートします。

## BMC Discovery バージョン 11.1 のサポート

BMC Discovery アダプターは今回より、BMC ツールの 11.1 リリースからのインベントリのインポートをサポートします。

詳細については、オンライン ヘルプのタイトル ページからアクセス可能な FlexNet Manager Suite Adapters Reference ガイド (英語のみ) の「*Using the BMC Discovery (ADDM) Adapter (BMC Discovery (ADDM) アダプターの使用)*」章を参照してください。

## LMS 監査エビデンスのダウンロード制限

[トラブルシューティング:アドバンス アクセスおよびダウンロードのログ記録] 管理者権限を持つアカウントのみ LMS エビデンスをダウンロードできるように制限するアクセス許可が追加されました。アカウントがこの権限を持たない場合、[Oracle インスタンス] ページで [すべての Oracle LMS 監査エビデンスを zip アーカイブでダウンロードする] リンクは表示されません。これによって、Oracle LMS データのエクスポート機能のセキュリティが強化されます。

詳細については、オンライン ヘルプの「*Oracle Instances (Oracle インスタンス)*」トピックを参照してください。

## 強化されたサポート機能

オンプレミス ユーザーは、エラー ID を表示する「赤いバー」エラーが発生したときに、強化されたサポート機能を活用することができます。以前のリリースでは、表示されたエラー ID がサーバー上で記録されるログ メッセージと必ずしも一致していませんでした。サポート機能の信頼性が高まり、サポート担当者が表示されたエラー ID を元に、webui.log ファイル内でより詳細なエラー情報を見つけやすくなりました。

## SAP 管理モジュールの日本語版リリース

FlexNet Manager for SAP Applications に含まれている SAP 管理 モジュールが、フランス語版およびドイツ語版だけでなく、日本語版も使用できるようになりました。

# 使用許諾契約

お客様の会社がライセンスを購入して、フレクセラ・ソフトウェアまたは公認フレクセラ・ソフトウェアのリセラーとのソフトウェア使用許諾契約書に同意した場合、このソフトウェアの使用に関して、その使用条件が適用されます。そうでない場合、評価または全額支払い済みのライセンスを基本として、このソフトウェアの使用は、ダウンロード済みのインストール パッケージに含まれている、クリックスルー形式の FlexNet Manager エンドユーザー使用許諾契約に基づいた使用条件が適用されます。

該当するソフトウェア使用許諾契約に同意できない場合、いずれのコンピュータにも FlexNet Manager Suite をインストールすることはできません。また、既にインストール済みの場合、これをインストール済みのすべてのコンピュータから削除する必要があります。また、所有するソフトウェアのすべての複製を返却または破棄しなくてはなりません。

## ライセンスの互換性

クラウド カスタマのライセンスは、自動的にアップデートされます。

オンプレミス カスタマは、[support@flexerasoftware.com](mailto:support@flexerasoftware.com) からライセンス キーを要求する必要があります。ライセンスが作成された後、要求者に電子メールが送信され、そのコピーが製品 & ライセンス センターに保管されます。このリリースでは、新しい Report Designer ライセンスも必要です。

## インストールおよびアップグレードの手順

このリリースに含まれる変更の範囲が広いとため、最新の公開済みアプリケーション認識ライブラリ (ARL) のロードを含む、完全インストールが必要です。

FlexNet Manager Suite 2017 R1 へのアップグレードおよびインストールの手順を説明する 4 つのドキュメントがあります。

- 「Installing FlexNet Manager Suite 2017 R1 On Premises (英語のみ)」FlexNet Report Designer 2017 R1 をインストールするためのオプションを含みます。
- 「Installing FlexNet Manager Suite 2017 R1 for a Managed Service (英語のみ)」
- 「Upgrading FlexNet Manager Suite from 2014 Rx to 2017 R1 On Premises (英語のみ)」FlexNet Manager Platform バージョン 2014 以降からのアップグレード用です。
- 「Migrating to FlexNet Manager Suite 2017 R1 On Premises (英語のみ)」FlexNet Manager Platform 9.2 から FlexNet Manager Suite 2017 R1 への移行について説明されています。FlexNet Manager Platform の以前のバージョンは、この移行を開始する前に 9.2 バージョンにアップグレードする必要があります。

これらは、製品 & ライセンス センター および カスタマ コミュニティドキュメント サイト (英語のみ) からアクセス可能な **Installation Documentation for FlexNet Manager Suite 2017 R1** アーカイブに含まれています。これらは、オンプレミス実装のオンライン ヘルプのタイトルページからも取得できます。

## 修正されたバグ

FlexNet Manager Suite 2016 R1 SP1 のリリース以来、FlexNet Manager Suite 2017 R1 リリースでは、次の問題が修正されました。

案件番号	概要
FNMS-21688	Inventory beacon servers will check for policy/rule updates every minute, ignoring the 'Interval for beacon updates' setting.
FNMS-23482	Deletion and re-registration of a beacon from FlexNet Manager Suite fails with an unexpected error for Cloud customers
FNMS-24748	Inventory source of inventory devices is incorrectly updated based on inventory date and is not set to primary source
FNMS-27702	FlexNet Manager Suite server may rarely fail to resolve an activity status file due to a unique key violation.
FNMS-28471	Intermittent reconciliation error, resulting in SQL failure that the transaction deadlocked with another transaction during update of consumption count step .
FNMS-28818	A compliance import may fail with 'System.DivideByZeroException' when the number of Virtual Machines per processor license is limited.
FNMS-30425	Missing Applications tab in VDI templates that existed in FlexNet Manager Suite 9.2
FNMS-31366	The error ID for the "We have a problem" page, cannot be found in webui.log file.
FNMS-31728	Compliance Import task showing as 'In progress' after completion
FNMS-31866	Active Directory import failure due to foreign key violation
FNMS-32189	Active Directory resolver will fail if there are existing users associated with the root OrganizationID
FNMS-33075	License Reconcile may fail if a ComplianceComputer is deleted, while the reconciliation is running.
FNMS-34279	Create a points rule: The validation message is wrongly shown when Min sockets value equal Max sockets value.
FNMS-35527	Licenses are excluded when license restrictions do not include the enterprise type used for Group Assignments
FNMS-35892	Old WMI Evidences are not cleared from the database and may report applications installations that are invalid.
FNMS-35905	The SCCM adapter may fail when used with an SCCM server that uses SQL Server 2000
FNMS-35946	ADDM adapter is failing where there has been no authentication changes on the ADDM side
FNMS-35964	Expiry Date is not hidden on the Purchase Properties page if Effective Date and Expiry Date are on different rows
FNMS-37249	License Reconciliation is failing with "divide by zero" error in for Microsoft server processor license
FNMS-37987	A reconcile may fail to calculate points for processor license simulation

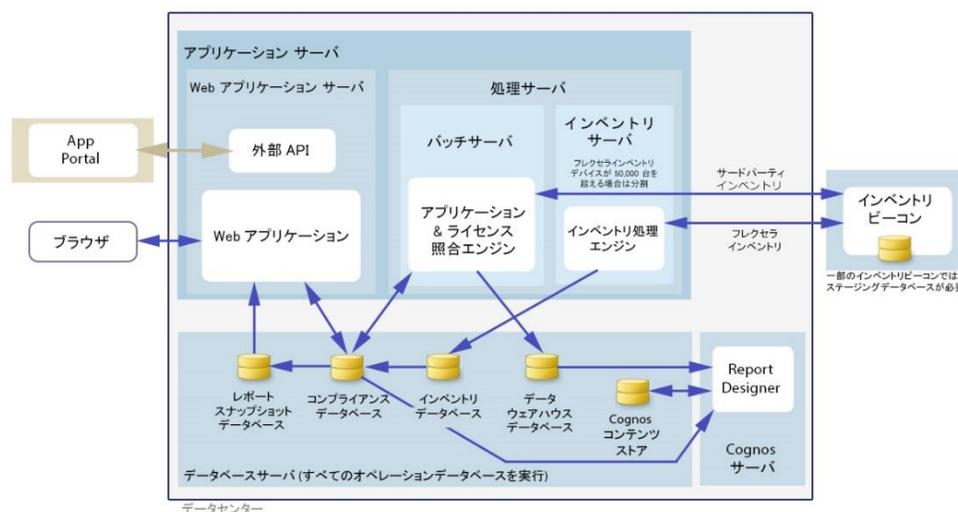
FNMS-38369	License Reconciliation fails when total maintenance purchases for a license exceed 2 billion entitlements
FNMS-38396	ILMT adapter incorrectly identifying operating systems
FNMS-38723	Import may fail with the error 'FK_Instance_ComplianceComputerID constraint violation' should a computer be deleted while the import is running.
FNMS-38783	The Consumption tab on the License properties page may incorrectly indicate unsaved changes when advanced filters are applied
FNMS-38879	The site and enterprise licenses may show consumption numbers
FNMS-39692	Active Directory Import fails when a UserCN is longer than 64 characters
FNMS-39784	Consumption of IBM PVU entitlements may be excessive for Solaris Zones within a resource pool
FNMS-39838	Multiple Exchange Service Plans incorrectly resulting in causing installer evidence for Office 365 to refer to a service plan of 'System.Object[]'
FNMS-39979	Access Evidence writer step of inventory importer may fail due to duplicates when access evidence version is NULL
FNMS-40122	SAP database performance issue may arise when performing a 'Recalculate license position' or when modifying rule set details.
FNMS-40222	Duplicate Oracle Instances in the NDI failing to resolve with "Item has already been added.Key in dictionary" error
FNMS-40376	Usage data resolver may fail with "System.Data.SqlClient.SqlException: Violation of UNIQUE KEY constraint 'UQ_SoftwareUsagePerWeek'" error
FNMS-40439	License assignments for supplementary IBM software installations on the same device as primary software installations are being incorrectly exempted with a reason of 'Covered By Related Product'
FNMS-40442	Cross Site Scripting vulnerability in Discovered Device properties. Refer to Knowledge Base article 000022093.
FNMS-40461	License reconcile may fail for a user license that has permanently allocated devices with no assigned users
FNMS-40469	Calculated consumption value for IBM PVU licenses is being set to be the same as the overridden consumption value.
FNMS-40473	SKU to purchase mapping fails while creating purchases through business import
FNMS-40535	Security vulnerability in the Beacon web plugin.Refer to Knowledge Base article 000022093.
FNMS-40608	Duplicate records for some computers in ServiceNow after upgrade to 3.0/3.1
FNMS-40743	Import error with XenApp server agent when servers do not use fully qualified domain names

FNMS-40747	Inventory Import may fail with "CREATE UNIQUE INDEX statement terminated because a duplicate key was found for the object name dbo.#SoftwareInventory" error
FNMS-40807	Beacon inventory imports are left "In Progress" if PackageUpload TriggersWriters setting is disabled
FNMS-40930	Security vulnerability in third-party inventory file uploads. Refer to Knowledge Base article 000022093.
FNMS-41081	PowerShell adapters will stall until all data is retrieved from PowerShell commands
FNMS-41107	License compliance calculations for an Oracle Processor license with metric set to Sockets, are not defaulting back to the number of processors when there is no socket count from inventory.
FNMS-41120	Scheduled task 'Data warehouse export' may fail with "UNIQUE KEY constraint 'UQ_ConsumptionData'", if the previous license reconcile is only for a single publisher, which is not Oracle.
FNMS-41178	Cannot move any deferred purchase order line items to Unprocessed
FNMS-41312	Registry handles are not closed by the FlexNet inventory agent resulting in large build-up of open handles over time
FNMS-41620	A compliance import may fail with the error 'WriteVirtualMachines with UQ_MemberEx violation'
FNMS-41740	An import from SCCM may time out when a large set of file evidences are deleted.
FNMS-42010	Inventory agent hardening when asked to execute scripts
FNMS-42356	Possible Cross-Site Request Forgery (CSRF) issue when downloading uploaded documents
FNMS-42463	File evidence usage mapping is not correct in the Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) adapter
FNMS-42955	Time taken to search for specific device(s) in defining a target for inventory rules, is too slow.
FNMS-42956	When loading the Discovered Device Properties of any device, page load times may be unacceptable.
FNMS-42967	The SAP report 'SAPRoleUtilization' may run too slowly.
FNMS-43291	Ignored inventory is not excluded from the Oracle Instances management view.
FNMS-43855	Inventory collection may fail on a x86 Solaris computer after downgrading the FlexNet inventory agent.

# システム要件

システム要件は、10,000 台から 200,000 台範囲のデバイスを含む一般的な実装に基づきます。規模が大きい実装の場合、担当アカウント マネージャを通してフレクセラ・ソフトウェア グローバル コンサルティング サービスに問い合わせ、実装デザインおよびデプロイメントのアシスタンスを受けてください。

次の図は、標準的な実装の構造を説明します：



特定の实装に適切な推奨サーバ数については、Installing FlexNet Manager Suite 2017 R1 On Premises ガイド (英語のみ) を参照してください。

SAP 関連の機能のみを使用する実装のサイズに関するナレッジベース記事「[FlexNet Manager for SAP Applications Sizing Guidelines \(FlexNet Manager for SAP Applications サイズ ガイドライン\)](#)」を参照してください。

# ネットワーク要件

## ネットワーク

分類	要件
インターネットプロトコル	Internet Protocol バージョン 4

# ハードウェア要件

## アプリケーション サーバー

分類	要件
プロセッサ	4 コア (オペレーターが 100 人以上の場合は 8 コアまで)
メモリ	8 GB
システムドライブ	40 GB
データドライブ	DataImport および Temp フォルダー (各 2GB、コンテンツ ライブラリの更新用)

## データベース サーバー

分類	要件
プロセッサ	オペレーター 100 人につき 4 コア
SQL Server で使用可能なメモリ	デバイス 50,000 台につき 16 GB
システムドライブ	40 GB
データドライブ (シンプルなデータベース回復モデルに基づく、標準的なサイズ)	<b>コンプライアンス データベース データ</b> デバイス 10,000 台につき: 初年度 25 GB + 15 GB 追加/年
	<b>コンプライアンス データベース ログ</b> デバイス 10,000 台につき 20 GB
	<b>インベントリ データベース データ</b> デバイス 10,000 台につき 20 GB (FlexNet インベントリ使用)
	<b>インベントリ データベース ログ</b> デバイス 10,000 台につき 10 GB (FlexNet インベントリ使用)
	<b>レポート スナップショット データベース データ</b> 10 GB
	<b>レポート スナップショット データベース ログ</b> 10 GB
	<b>データ ウェアハウス データベース データ</b> 20 GB (1,000 ライセンスに基づく)
	<b>データ ウェアハウス データベース ログ</b> 20 GB

分類	要件
tempdb データ	デバイス 10,000 台につき 5 GB
tempdb ログ	デバイス 10,000 台につき 1 GB
Cognos コンテンツ ストア データ + ログ	1 GB
合計	デバイス 10,000 台につき 60 GB + 80 GB
年間増加率	デバイス 10,000 台につき 15 GB

### FlexNet Designer (Cognos) サーバー

分類	要件
プロセッサ	4 コア
メモリ	16 GB+ 推奨
システム ドライブ	100 GB

### FlexNet Beacon

分類	要件
プロセッサ	2 コア
メモリ	最小 4GB、8 GB 以上推奨
最小空きディスク領域	デバイス 10,000 台につき 1GB

### FlexNet インベントリ エージェント

分類	要件
プロセッサ	1 コア
メモリ	最小 512MB、2 GB 以上推奨
最小空きディスク領域	25MB インストール + 100MB ワークスペース

## 前提条件ソフトウェア

FlexNet Manager Suite 2017 R1 リリース時にサポート対象のオペレーティング システムおよびソフトウェア前提条件は次の通りです。別途記載が無い限り、特定リリースのサポートには、同じリリースに対してリリースされるすべての公式サービス パックのサポートも含まれます。

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
---------	---------------	------------

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
アプリケーション サーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2016</li> <li>Windows Server 2012 R2</li> <li>Windows Server 2012</li> <li>Windows Server 2008 R2 x64 SP1-SP2</li> <li>Windows Server 2008 x64 SP1-SP2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>.NET Framework 4.5.x</li> <li>Internet Explorer 10.0 to 11.0</li> <li>Microsoft Internet Information Services 7.0 から 8.5</li> <li>Microsoft Message Queuing (MSMQ)</li> <li>Microsoft Access Database Engine (32-ビット)</li> <li>SQL Server 機能: クライアント ツール接続、管理ツール</li> </ul>
データベース サーバ (Cognos データベース サーバーを含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2016</li> <li>Windows Server 2012 R2</li> <li>Windows Server 2012</li> <li>Windows Server 2008 R2 x64 SP1</li> <li>Windows Server 2008 SP1-SP2</li> <li>Windows Server 2008 x64 SP1-SP2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SQL Server 2014 (互換性レベル <i>SQL Server 2012</i> (110))</li> <li>SQL Server 2012</li> <li>SQL Server 2008 R2</li> <li>SQL Server 2008</li> <li>SQL Server クライアント ツール、同一バージョン</li> </ul> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マルチテナント インストールには、SQL Server Enterprise Edition が必要。シングルテナント インストールには、任意の SQL Server エディションを使用可能。</li> <li>FlexNet Report Designer (Cognos) データベースは、互換性レベル SQL Server 2012 (110) に設定して実行する必要があります。</li> <li>Microsoft SQL CLR 統合を有効にする必要があります。</li> <li>レガシー契約管理 Web ポータルを使用しているカスタマは、ドキュメント内部を検索できるようにフルテキスト インデックスを有効化してください。</li> </ul>

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
FlexNet Report Designer /Cognos Server	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2012 R2</li> <li>Windows Server 2012</li> <li>Windows Server 2008 R2 x64 SP1</li> <li>Windows Server 2008 SP1-SP2</li> <li>Windows Server 2008 x64 SP1-SP2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>.NET Framework 4.5.x</li> <li>ASP.NET の登録: C:\Windows\Microsoft.NET\Framework64\v4.0.30319\aspnet_regiis.exe -i)</li> </ul> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツ ストア データベースを実行中のデータベース サーバー以外に FlexNet Report Designer をインストールする場合、FlexNet Report Designer をホストするサーバー上に Microsoft SQL Server Native Client をインストールする必要があります。</li> <li>Cognos サーバーは、マルチテナント インストールでサポートされていません。</li> </ul>
FlexNet Manager for SAP Applications の管理モジュール トランスポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>SAP Basis リリース (7.0 および 7.4 の間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SAP リリースに一致する SAP GUI をインストールする必要があります。</li> <li>ActiveX をインストールする必要があります。</li> </ul>
FlexNet Manager for SAP Applications のサテライト トランスポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>SAP Basis リリース (4.6C および 7.5 の間)</li> </ul>	
Web ブラウザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft Internet Explorer 10 - 11</li> <li>Microsoft Edge for Windows</li> <li>Google Chrome 46 - 52</li> <li>Mozilla Firefox 45 - 51</li> <li>Apple Safari 7 - 10</li> </ul> <p>Report Designer メニュー オプションの一部は、Chrome ブラウザーで利用できません。詳細については、「<a href="#">IBM Knowledge Center (英語)</a>」を参照してください。</p> <p>Web ブラウザー リリースのサポートを検証することはできませんが、現時点で、将来的なリリースに問題は確認されていません。</p> <p>最小スクリーン解像度 1024 (水平方向のピクセル) が必要です。</p>	<p>Safari を使用するとき、Report Designer は、Cognos Workspace のみをサポートします。その他のワークスペースはサポートされていません。</p>

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
FlexNet インベントリ エージェント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows Server 2016</li> <li>• Windows Server 2012 R2 SP1</li> <li>• Windows Server 2012 R2</li> <li>• Windows Server 2012</li> <li>• Windows Server 2008 R2 x64 Server Core</li> <li>• Windows Server 2008 R2 x64</li> <li>• Windows Server 2008 Server Core</li> <li>• Windows Server 2008 Server Core</li> <li>• Windows Server 2008 x64 Server Core</li> <li>• Windows Server 2008 x64</li> <li>• Windows Server 2003 R2</li> <li>• Windows Server 2003 R2 x64</li> <li>• Windows Server 2003</li> <li>• Windows Server 2003 x64</li> <li>• Windows XP Professional</li> <li>• Windows XP Professional x64</li> <li>• Windows XP Home</li> <li>• Windows Vista</li> <li>• Windows Vista x64</li> </ul>	

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
FlexNet インベントリ エージェント (続き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows 7</li> <li>• Windows 7 x64</li> <li>• Windows 8</li> <li>• Windows 8 x64</li> <li>• Windows 10</li> <li>• Windows 10 x64</li> <li>• Ubuntu 12 - 16 (x86-64 のみ)</li> <li>• Debian 6 - 8.6 (x86-64 のみ)</li> <li>• Red Hat Linux 8 および 9 (x86 のみ)</li> <li>• Red Hat Enterprise Linux 3、4、5、6、7 (x86-64 のみ)</li> <li>• CentOS 4 - 7 (x86-64 のみ)</li> <li>• Fedora 6 - 11 および 18 - 25 (x86-64 のみ)</li> <li>• Oracle Linux 4.5 - 7.0 (x86-64 のみ)</li> <li>• SuSE Professional 12、13、および 42.1 (x86-64 のみ)</li> <li>• SuSE Enterprise Server 11 および 12 (x86-64 のみ)</li> <li>• Solaris 9、10、11 (x86)、10 &amp; 11 ゾーン</li> <li>• Solaris 8、9、10、11 (SPARC)、10 &amp; 11 ゾーン</li> <li>• Mac OS X 10.6 Snow Leopard、10.7 Lion</li> <li>• OS X 10.8 Mountain Lion、10.9 Mavericks、10.10 Yosemite、10.11 El Capitan</li> <li>• macOS 10.12 Sierra</li> <li>• AIX 5.2、5.3、6.1、7.1、LPAR</li> <li>• HP-UX 11.00、11i、11i v2、11i v3、vPars/nPars</li> </ul>	

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
<b>FlexNet Beacon</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2016</li> <li>Windows Server 2012 R2</li> <li>Windows Server 2012</li> <li>Windows Server 2008 R2 x64</li> <li>Windows Server 2008</li> <li>Windows Server 2008 x64</li> <li>Windows 7</li> <li>Windows 7 x64</li> <li>Windows 8</li> <li>Windows 8 x64</li> <li>Windows 10</li> <li>Windows 10 x64</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>.NET Framework 4.5.x</li> <li>任意のサポート対象 Web ブラウザー</li> <li>Oracle OLE DB Provider (32 ビット)、バージョン 10.2.0.3 以降 (Oracle データベース インベントリ用)</li> <li>IBM OLE DB Provider (32 または 64 ビット) (DB2 データベースからデータをインポートするための接続用)ドライバーが 32 または 64 ビットのどちらであるかは、オペレーティング システムによって決まります。64 ビットのオペレーティング システムでは、64 ビットドライバーが必要です。</li> <li>PowerShell 3.0+</li> <li>Office 365 では次が必要です: <ul style="list-style-type: none"> <li>64 ビット サーバー オペレーティング システム</li> <li>.NET Framework 4.5.2</li> <li>Microsoft オンライン サービス サインイン アシスタント (64 ビット バージョン)</li> <li>Windows Azure Active Directory PowerShell Module</li> <li>Skype for Business Online PowerShell Module</li> </ul> </li> </ul>

## その他の製品との互換性

このセクションでは、リリース時における FlexNet Manager Suite 2017 R1 およびその他のフレクセラ・ソフトウェア製品との互換性について説明します。このリリースに関する最新構成情報については、ナレッジベース記事「Supported Configurations for FlexNet Manager Suite 2017 R1 (FlexNet Manager Suite 2017 R1 でサポートされている構成)」を参照してください。このサイトには、以下の情報の最新版が掲載されています。

### 同一サーバー上にインストール

次の表に、FlexNet Manager Suite 2017 R1 アプリケーション サーバーと同じサーバー上にインストールされた、サポート対象コンポーネントの一覧が表示されます。

コンポーネント	FlexNet Manager Suite 2017 R1 と同一サーバー上にインストール可能なバージョン
FlexNet インベントリ エージェント	2017 R1
FlexNet Beacon	2017 R1
FlexNet Report Designer	2017 R1

## その他の製品との統合

FlexNet Manager Suite は、次の製品およびコンポーネントとの統合が可能です。この表は、現在サポートされているバージョンの詳細です:

製品/コンポーネント	インポート元のバージョン
BladeLogic Client Automation (Marimba)	8.2
BMC Atrium CMDB	8.1 (Atrium Integrator バージョン 8.1 要)
BMC Discovery (ADDM)	8.3、9.0、10.0、10.1、10.2、11.0、11.1
BMC Remedy ITSM Applications	7.6.04 SP4
Citrix XenApp EdgeSight	5.4、7.6 (Platinum ライセンス要)
Citrix XenApp Server	6.0、6.5、7.5、7.6、7.8、7.9、7.11、7.12
Citrix XenDesktop	5.6、7.5、7.6、7.8、7.9、7.11、7.12
Deployment Manager / Flexera Inventory Manager	8.4、8.5、8.6、9.0、9.1、9.2
App Portal	2013 R2 から 2016
FlexNet Manager for Engineering Applications	14、15.1、15.2、15.3、15.4、15.5、15.6 (2016 R1)、15.7 (2016 R2)
HP Discovery および Dependency Mapping Inventory (DDMI)	9.10、9.30
HPE Universal Discovery (HP-UD)	10.10、10.11
Hyper-V	実行プラットフォーム: <ul style="list-style-type: none"><li>• Windows Server 2012 R2</li><li>• Windows Server 2012</li><li>• Windows Server 2008 R2 x64 Server Core</li><li>• Windows Server 2008 R2 x64</li><li>• Windows Server 2008 x64 Server Core</li><li>• Windows Server 2008 x64</li></ul>
IBM BigFix (以前の名称は Tivoli Endpoint Manager)	8.2、9.5
IBM DB2 上の IBM License Metric Tool (ILMT)	7.2、7.5、9.0、9.1、および 9.2.4
Microsoft SQL Server 上の IBM License Metric Tool (ILMT)	9.2.3
IBM Passport Advantage	2014 年 11 月現在
IBM Software Usage Analysis (SUA)	9.0、9.1 (IBM DB2 データベース上で実行時)

製品/コンポーネント	インポート元のバージョン
Microsoft App-V Integration Server	4.6、5.0、5.1
Microsoft Exchange ActiveSync	2007、2010
Microsoft SMS/SCCM	2003、2007、2012、2012 R2、1511、1602、1606、1610
Oracle Database	8i、9i、10g、11g、11g Release 2、12c
Oracle VM Server for x86	3.2、3.3
ServiceNow	Geneva Patch 5、Helsinki、および Istanbul
Symantec IT Management Suite (Altiris)	6.5、7.1、7.5
VMware vSphere vCenter	2.0 から 6.0
VMware vSphere ESX/ESXi	2.0 から 6.0
	<i>メモ: ESXi の無償ライセンス バージョンで、リモート インベントリを行うことはできません。</i>
Workflow Manager	2014 から 2016

## インベントリ コンポーネント

次の表には、FlexNet Manager Suite 2017 R1 で管理可能な FlexNet Beacon および FlexNet インベントリ エージェントのバージョンが一覧で表示されます。

コンポーネント	互換性のあるバージョン
FlexNet Beacon	2014 から 2017 R1 Citrix XenApp インベントリには FlexNet Beacon 2014 R2 以降が必要です。
FlexNet インベントリ エージェント (Windows)	8.4 から 9.2 および 2014 から 2017 R1
FlexNet インベントリ エージェント (Linux)	<i>メモ: 以前のバージョンは、スケジュールに基づいてデフォルト ポリシーを受け取り、インベントリを収集する機能の面で互換性を持ちます。より新しい、次のようなエージェント機能はサポートされていません:</i> <ul style="list-style-type: none"> <li>• (.Ini ファイルおよびレジストリ コントロールではなく) UI 設定を使った使用率追跡の制御 (2014 (R1) より)</li> <li>• IP アドレスがターゲットとする設定 (2014 (R1) より)</li> <li>• CAL インベントリ (2016 R1)</li> </ul>
FlexNet インベントリ エージェント (Solaris)	
FlexNet インベントリ エージェント (Mac OS X)	
FlexNet インベントリ エージェント (AIX)	
FlexNet インベントリ エージェント (HP-UX)	
Citrix XenApp サーバー エージェント	2014 R3 から 2017 R1

## FlexNet Report Designer の互換性

FlexNet Report Designer の次のバージョンは、FlexNet Manager Suite 2017 R1 と互換性があります。

コンポーネント	互換性のあるバージョン
FlexNet Report Designer	2016 R1

## 既知の問題

FlexNet Manager Suite 2017 R1 リリースに関する既知の問題一覧は、リリース時にフレクセラ・ソフトウェア サポート サイトで参照できます。詳細は、ナレッジベース記事「[Known Issues for FlexNet Manager Suite 2017 R1 \(FlexNet Manager Suite 2017 R1 に関する既知の問題\)](#)」を参照してください。

## ドキュメント

FlexNet Manager Suite 2017 R1 のドキュメントは、オンライン ヘルプとして提供されています。Web ユーザー インターフェイスから、疑問符記号のアイコンをクリックしてヘルプを起動してください。追加の PDF ドキュメントは、オンライン ヘルプのタイトル ページからアクセスできます。オンライン ヘルプおよび追加 PDF ドキュメントは、その内容が必要に応じてカスタマイズされているため、すべてのドキュメントはオンプレミス バージョンとクラウド バージョンで異なります。オンプレミス カスタマは、[Documentation Center](#)から追加 PDF ファイルにアクセスが可能です。

インストールおよびアップグレードに関する詳細は、このドキュメントの「[Installation and Upgrade Procedures \(インストールおよびアップグレードの手順\)](#)」セクションを参照してください。

## その他の情報

項目	説明
Flexera Software Web サイト	フレクセラ・ソフトウェアについての情報 <a href="http://www.flexerasoftware.jp/">http://www.flexerasoftware.jp/</a>
サポート	サポート Web サイト (ナレッジベースを含む) (英語のみ) <a href="https://flexeracomunity.force.com/customer">https://flexeracomunity.force.com/customer</a>
製品ダウンロード	フレクセラ・ソフトウェア製品 & ライセンス センター <a href="https://flexera.flexnetoperations.com/flexnet/operationsportal/start Page.do">https://flexera.flexnetoperations.com/flexnet/operationsportal/start Page.do</a>
電子メール サインアップ	ホットフィックスを含む FlexNet Manager Suite のソフトウェア アップデートに関する通知 <a href="http://learn.flexerasoftware.com/SLO-FMS-Software-Content-Library-Updates">http://learn.flexerasoftware.com/SLO-FMS-Software-Content-Library-Updates</a>